

次亜塩素酸水専用

《除菌消臭用》

# 超音波式噴霧器

この噴霧器は、次亜塩素酸水専用の噴霧器です。

## 取扱説明書

プーキープロミスト  
PK-808S-EP6000

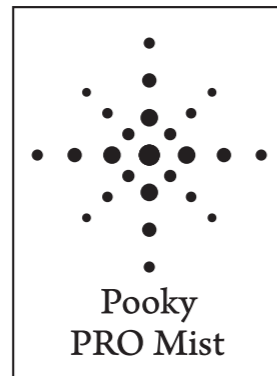
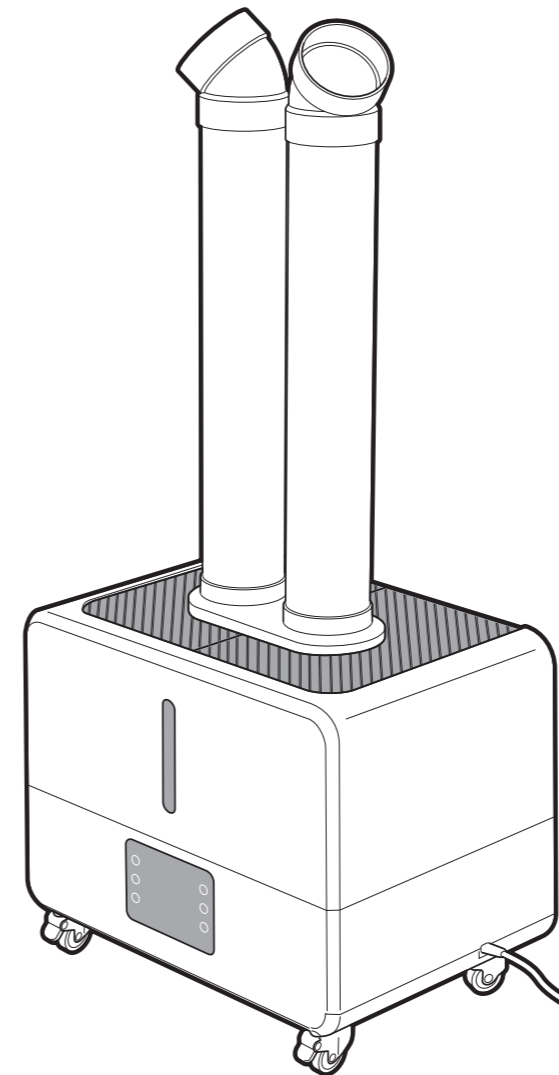
### 禁止

タンクの中には空間噴霧に適した次亜塩素酸水以外のものを入れて使用しないで下さい。

#### ●ご使用の前に

このたびは当社の超音波式噴霧器をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分理解された上で、正しくご使用ください。  
なお、お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

この製品は日本国内でのみご使用になれます。  
This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country.



#### ■ お客様サポートセンターのご案内

製品に関するお問い合わせ窓口

 **0120-720-076**

受付時間  
(平日)月曜日～金曜日 ※祝祭日を除く  
午前10:00～午後4:00

#### ■ 輸入元

**プーキートレーディング株式会社**

#### ■ 販売元

**株式会社プーキービケン**

香川県木田郡三木町井戸2048-1  
TEL (087) 891-9311  
FAX (087) 891-9212  
email: support@pooky.co.jp  
HP: https://www.pookypromist.com/

#### ■ 目次

安全上のご注意	2	コントロールパネル操作ボタン・	お手入れのしかた
同梱品/各部名称	4	リモコンボタンの各部名称	本体のお手入れ
設置について		コントロールパネル操作ボタン・	下部本体フィルターのお手入れ
設置場所	5	リモコンボタンの使い方	振動子周辺のお手入れ
設置場所のご注意	6	電源のON/OFF	タンクのお手入れ
使用上のご注意	6	ミスト調節機能	保管のしかた
その他のご注意	6	OFFタイマー機能	故障かなと思ったら
使い方		湿度設定機能	消耗部品の交換について
運転前の準備	7	間欠運転機能	リモコンの電池交換について
タンクに		ナイトモード・空炊き防止機能	アフターサービス
次亜塩素酸水をいれる	7		製品仕様

## 安全上のご注意

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
お読みになった後はいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警告

下記の事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 禁止

**タンクの中には空間噴霧に適した次亜塩素酸水以外のものを入れて使用しないで下さい。**

### 禁止

この機器は、安全に責任を持てる人の監視または指示が無い限り、**補助を必要とする人(お子様を含みます)**が単独でご使用することのないようご注意ください。

### 禁止

塩素ガス発生の恐れがありますので、**コンロ等、火を使用している付近では噴霧しないでください。**また**ストーブ等の高温になるものに霧(ミスト)がかからないよう十分に離れた位置**でご使用ください。(あるいは、**ストーブ等の高温になるものの付近では噴霧しないでください。**)

### 禁止

表示された**電源電圧交流100ボルト以外の電圧**で使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。  
この機器を**水につけたり、かけたりしないでください。**火災・感電の原因となります。

### 禁止

**吸気口(背面)から本体内部へ液剤や水を入れないでください**(特にお手入れの際にご注意ください)。故障、感電、火災の原因になることがあります。

### 禁止

**布巾やタオルなどの敷物や紙類など燃えやすいものの上にこの機器を置いて運転しないでください。**万一加熱した場合に危険です。

### 禁止

**電源コードを傷つけたり、破損させないでください。**また**重いものを乗せたり、加熱したり、ひっぱったり**すると電源コードが破損し火災・感電の原因となります。

### 禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、**不安定な場所に置かないでください。**落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。  
**燃えやすいものの近くで運転しないでください。**万一発熱した場合に危険です。

### プラグを抜く

**煙が出ている、変なおいや音がする**などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに**電源を切り**、その後必ず**電源プラグをコンセントから抜いてください。**煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。  
**お客様による修理は危険です**ので絶対におやめください。

### プラグを抜く

この**機器を落とす**などして**タンクや本体を破損した場合は**、ご連絡ください。そのまま使用すると、液剤(水)漏れ・火災・感電の原因となります。

### プラグを抜く

万一、**異物が機器の内部に入った場合は**、**本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて**販売店または、弊社にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### 使用禁止

**電源コードが傷んだら**(芯線の露出、断線など)、販売店に**交換をご依頼ください。**そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### 分解禁止

この機器を**改造しないでください。**火災・漏電の原因となります。**電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしないでください。**火災・漏電の原因となります。**お客様自身による修理・改造はしないでください。**感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。

## 安全上のご注意

### 注意

下記の事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### プラグを抜く

**お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**旅行などで**長時間、この機器をご使用にならない時は**、安全のため必ず**電源プラグをコンセントから抜いてください。**移動させる場合は、安全のため**電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

### 禁止

**液剤がタンクに入った状態でこの機器を移動するときは**、タンク内および本体プール内の液剤が大きく揺れないようご注意ください、**キャスターを使ってゆっくりと移動するか、または、タンクを取り外した状態で移動してください。**送風口から本体内部へ液剤が入ると、故障、感電の原因になることがあります。

### 禁止

**コントロールパネル周辺を液剤や水で濡らさないでください**(特にお手入れの際にご注意ください)。

### 禁止

故障の原因になりますので、パソコン、テレビ、オーディオ類など電気製品に**霧(ミスト)がかからないよう十分に離れた位置**でご使用ください。錆を生じる可能性がありますので、**金属製のものに霧(ミスト)がかからないよう十分に離れた位置**でご使用ください。

### 禁止

この機器の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。また、**お子様のみでのご使用や乳幼児の手の届くところでのご使用はお避け下さい。**感電や怪我の原因になることがあります。

### 禁止

この機器の**吹き出し口をふさがないでください。**吹き出し口をふさぐと感電・火災・故障の原因になることがあります。

### 禁止

電源プラグを抜く時は、**電源コードをひっぱらないでください。**電源コードが傷つき、感電の原因となることがあります。必ず**電源プラグを持って抜いてください。**  
**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**感電の原因となることがあります。  
**電源コードを熱器具に近づけないでください。**電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

### 禁止

**不安定な場所に置かないでください。**転倒すると液剤がこぼれ、火災・感電の原因となることがあります。**転倒したときは電源プラグを抜き、液剤を拭き取ってください。**また、本体内部に液剤が入った場合は、販売店にご連絡ください。

### 禁止

**湿気や埃・粉塵の多い場所に置いて使用しないでください。**火災・感電の原因やファンの故障の原因となることがあります。  
調理台のそばなど**油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。**火災、感電の原因となることがあります。

### 禁止

**家具・壁・衣類の近くで使わないでください。**吹き出し口からの霧に含まれている成分により、変色することがあります。**吹き出し部を外して使わないでください。**周囲が濡れることがあります。

### 禁止

**直射日光が当たる場所や、気温が40℃以上になる場所に置かないでください。**除菌消臭成分の失効が早くなる他、機器が正常に動作せず故障の原因になることがあります。

### 禁止

**タンクを不安定な持ち方をしたまま移動しないでください。**タンクに液剤が入っている時は、**タンクの下から手を添えて運んでください。**

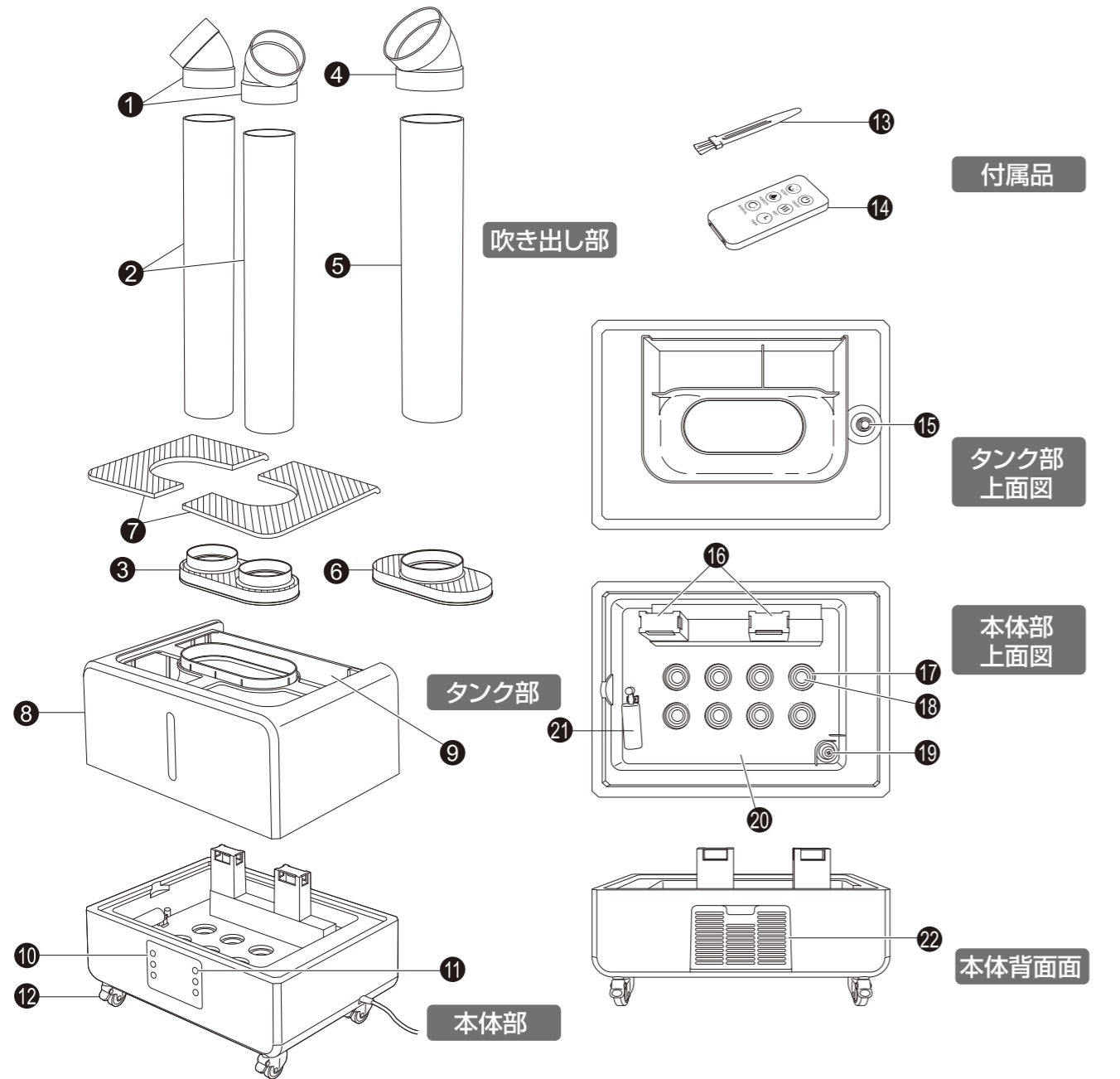
### 注意

次亜塩素酸水は、タンクに入れたまま**長期間(10日間を目安)放置すると除菌消臭成分が失効します**(成分失効の早さは、ご使用の液剤の濃度や性質、設置環境などにより異なります)。この場合、タンク内の古い液剤を捨て、新たに次亜塩素酸水を入れてご使用ください。

## 同梱品

- 本体(本体部・タンク部・吹き出し部)
- お手入れブラシ
- 取扱説明書(本書)
- リモコン

## 各部名称

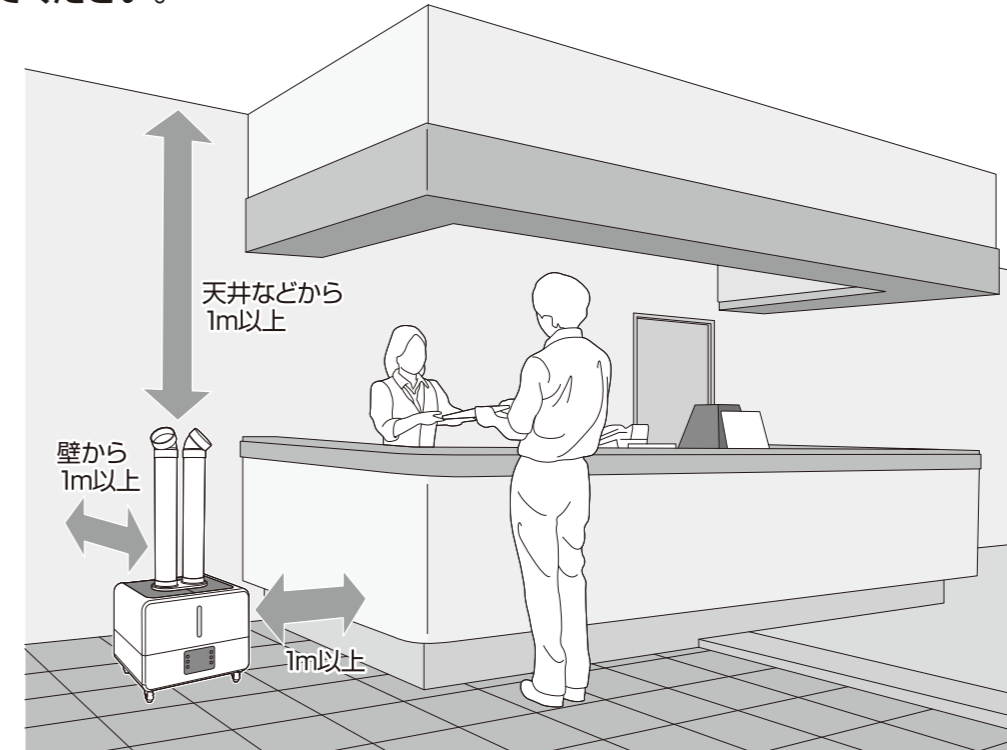


- |                     |             |                |
|---------------------|-------------|----------------|
| ① ダブルミストパイプ用ミストノズル  | ⑧ タンク       | ⑮ タンク送水口       |
| ② ダブルミストパイプ         | ⑨ 最大液剤水位シール | ⑯ 送風口          |
| ③ ダブルミストパイプ用ベース     | ⑩ コントロールパネル | ⑰ 固定金属枠(放熱金属板) |
| ④ シングルミストパイプ用ミストノズル | ⑪ 操作ボタン     | ⑱ 超音波振動子       |
| ⑤ シングルミストパイプ        | ⑫ キャスター     | ⑲ 水位センサー       |
| ⑥ シングルミストパイプ用ベース    | ⑬ お手入れブラシ   | ⑳ プール          |
| ⑦ タンクカバー            | ⑭ リモコン      | ㉑ タンク送水フロート    |
|                     |             | ㉒ 背面吸気口        |

## 設置について

### 設置場所

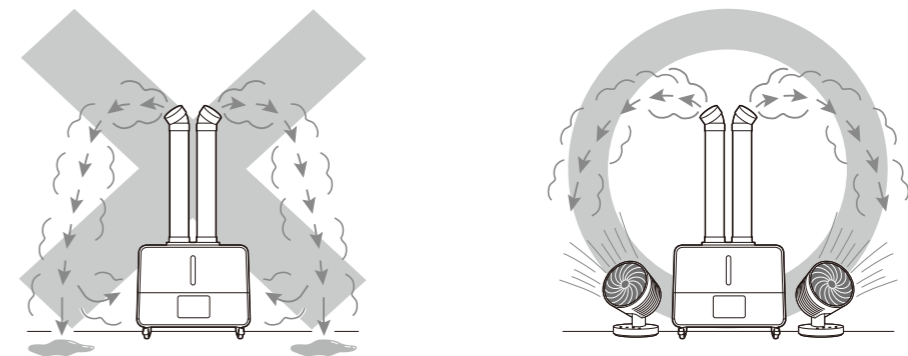
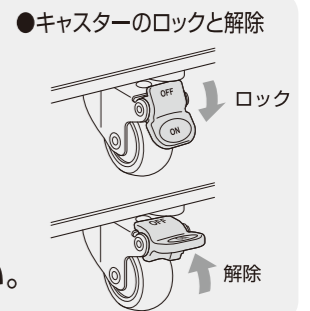
- 本機は水平で安定した場所で、図のように噴霧器周囲に50cm以上のスペースを開けてください。



### 水平な場所に設置ください

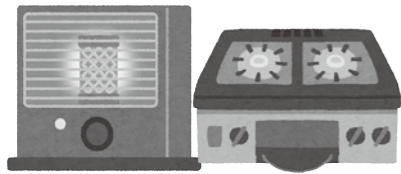
本機には、水位自動感知機能があり、水位センサーで液剤切れを感知します。傾斜のある場所に本機を設置しますと、水位センサーが正常に機能せず、液剤切れでないときでも運転を停止した状態になることがありますので、必ず水平な場所に設置してご使用ください。

- 適切な場所に設置できたらキャスターをロックしてください。

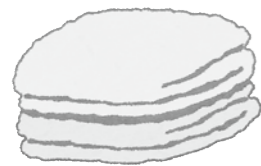


湿度が高い環境で大量噴霧すると霧(ミスト)が空気に溶け込み切らず、下方へ降りてきたミストを噴霧器が再吸入してしまふことがあります。そのような場合は、ミスト量を減らしたり、サーキュレーターなどでミストを攪拌してください。

## 設置場所のご注意



- 塩素ガス発生のおそれがありますので、コンロやストーブ等、火を使用するものや高温になるものの付近での使用を避け、これらのものに霧（ミスト）がかからないよう十分に離れた位置でご使用ください。

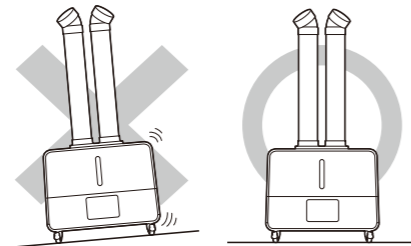


- 布巾やタオルなどの敷物の上に設置したり、燃えやすいものの付近に設置したりしないでください。万一発熱したりした場合に危険です。

**湿気や埃・粉塵の多い場所に置いてのご使用はお避け下さい。**  
火災・感電の原因やファンの故障の原因となることがあります。



- 霧が壁や家具に直接当たるような所には置かないでください。変色したり家具を傷めたりすることがあります。

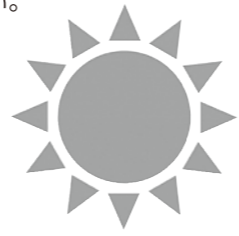


- 水平な安定した場所に設置してください。



- 水分により故障のおそれがありますのでパソコン、テレビ、オーディオ類など電気製品に霧（ミスト）がかからないよう十分に離れた位置でご使用ください。

- 水分によりサビが発生する恐れがありますので、金属製のものに霧（ミスト）がかからないよう十分に離れた位置でご使用ください。



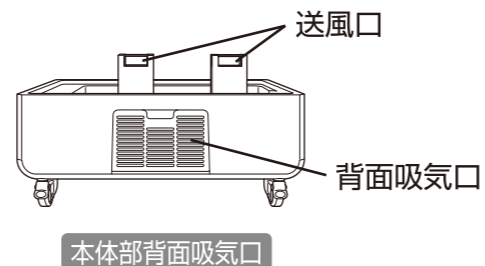
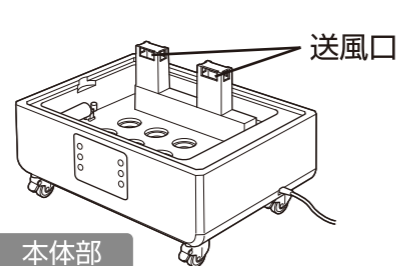
- 直射日光が当たる場所や、気温が40℃以上になる場所に置かないでください。

## 使用上のご注意

- 本機周辺に電気製品および紙類など水分に弱いものがある場所での使用は、絶対にしないでください。
- 噴霧量が多過ぎると、周囲が水滴で濡れる場合がありますので、コントロールパネルのミスト量調節ボタンで噴霧量を調整してご使用ください。
- ミストノズルを装着しないで使用しますと、吹き出した霧（ミスト）が下方に降りてきた場合、噴霧器本体が濡れてしまいますので、必ずミストノズルを装着してください。
- コントロールパネルに直接水や液剤がかかったり、送風口や背面吸気口から水や液剤が入ったりしないようご注意ください。



送風口・背面吸気口からの  
**水・液剤入り厳禁**



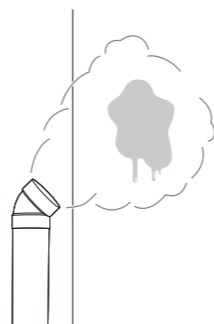
## その他のご注意

### ● 高温に対するご注意

特に夏場での窓を閉めきった直射日光の当たるところ、暖房器具の近くには放置しないでください。高温により変色や故障の原因になります。

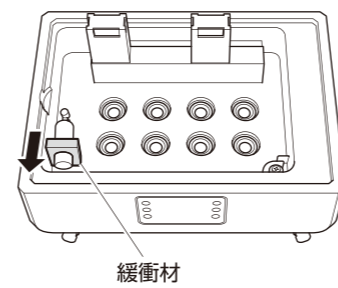
### ● 大量噴霧する際のご注意

周囲のものに（霧）ミストが直接あたったり地面に落ちてこないように、ノズルの向きを変えたりサーキュレーターなどでミストを撪拌してください。

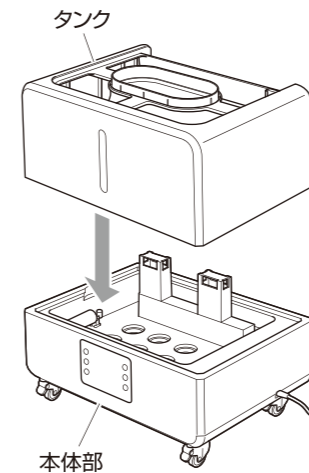


## 使い方

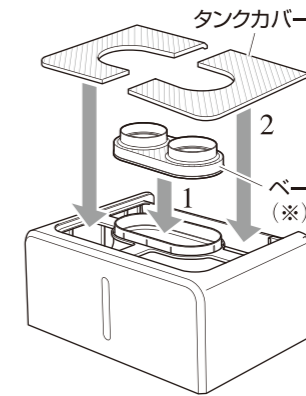
### 【運転前の準備 1】



1. 下部本体のフロートについている緩衝材を取り除いて下さい。



2. 本体部にタンクをセットします。

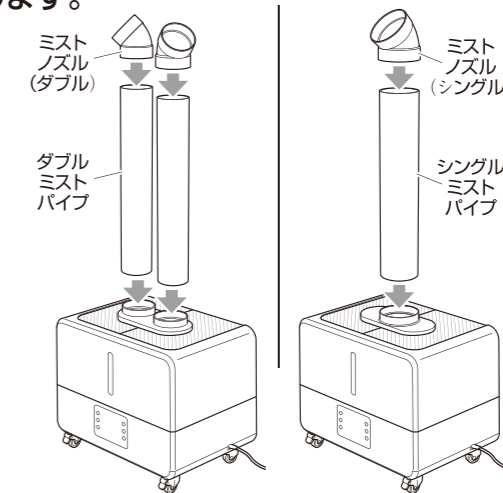


3. ベースをタンクに押し込み、確実にセットし、タンクカバーをセットします。

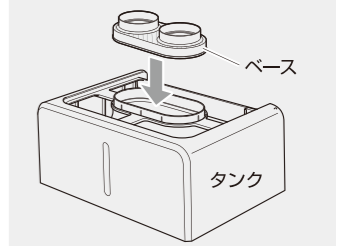
- ※目的に合ったものを取り付けてください。
- ダブル: 広範囲に拡散したい
  - シングル: 一方向に拡散したい



- リモコンに+マークを上に向け電池を入れます。  
※電池の向きに注意してください（電池の種類 CR2025）



4. 使用形態に合わせてパイプ・ノズルをセットします。

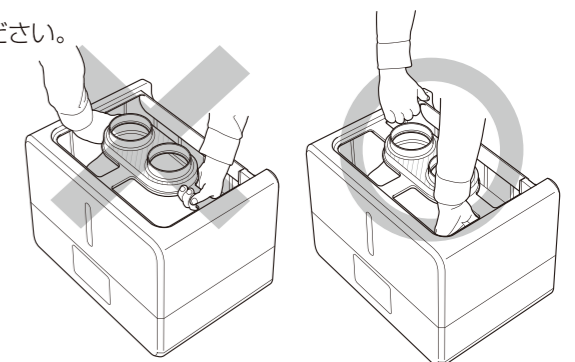
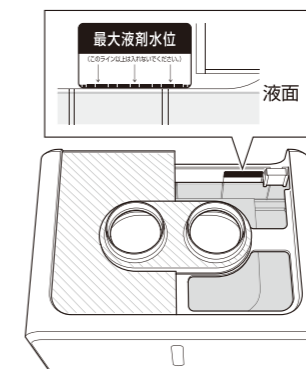
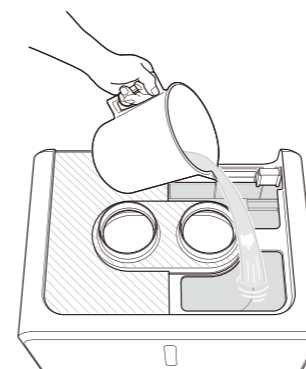


### 注意!

ベースがタンクに最後まで入っていないと最適な噴霧量が得られませんのでベースは確実に押し込んでください。

### 【運転前の準備 2】

- タンクに次亜塩素酸水を入れる ※電源を切った状態で行ってください。



1. 蓋を開け噴霧に適した濃度の次亜塩素酸水を入れて下さい。
2. 液剤は、最大液剤水位以上入れないで下さい。

- 液剤が入った状態で、下部本体からタンクを取り外すときは内側からタンクの側面のふちを持って持ち上げて下さい。

### 液剤についてのご注意

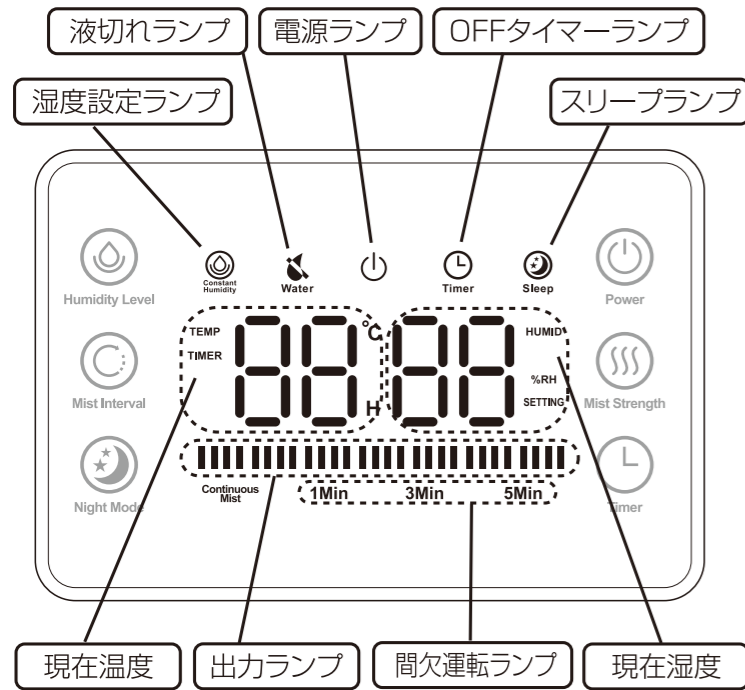
- 必ず空間噴霧に適した次亜塩素酸水をご使用ください。
- タンク内で10日以上経過した次亜塩素酸水は、全て新しい次亜塩素酸水に取り替えてください。
- 絶対にお湯や冷水を入れしないでください。変形や故障の原因になります。
- 絶対にお香料(アロマ)等を入れしないでください。変形や故障の原因になります。

### タンクを運ぶときのご注意

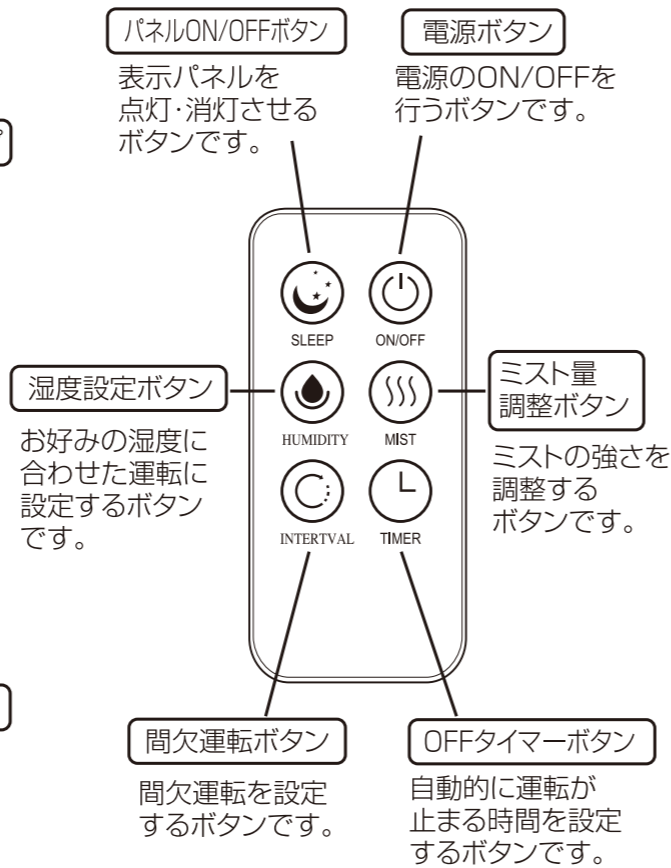
- タンクに液剤が入っているときは、タンクの持ち手部分だけを持って運ばないでください。必ずタンクの下から手を添えて運んでください。

# コントロールパネル・操作ボタン・リモコンボタンの各部名称

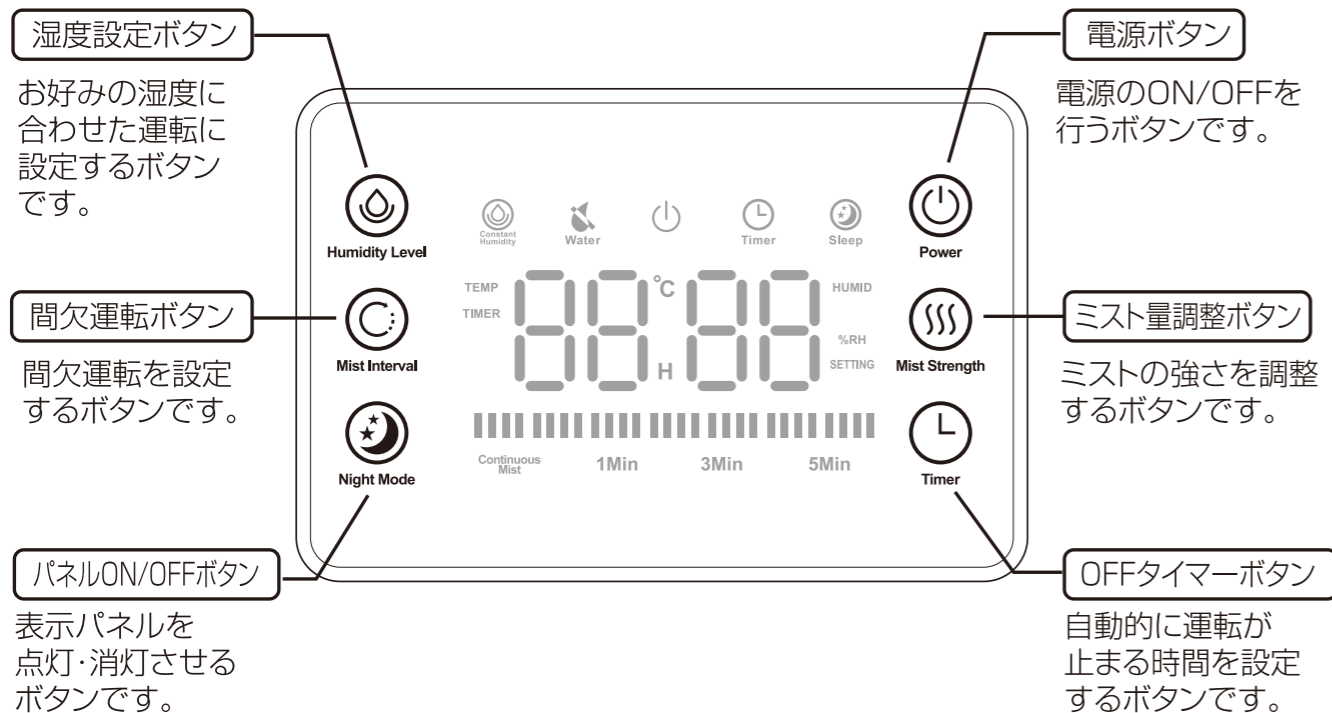
## 【コントロールパネル各ランプ一覧】



## 【リモコン操作ボタン一覧】



## 【コントロールパネル操作ボタン一覧】

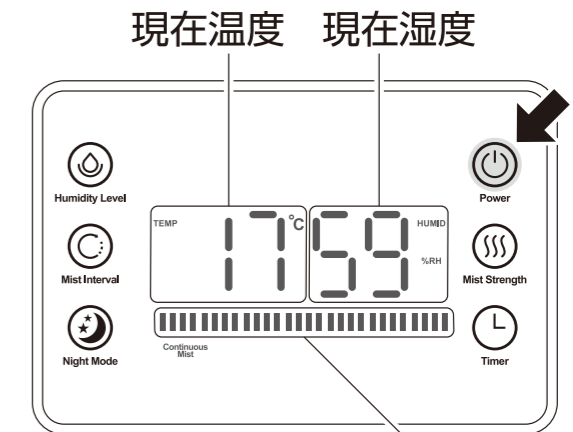
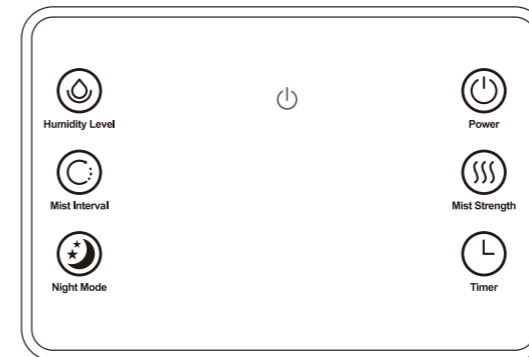


# コントロールパネル・操作ボタン・リモコンボタンの使い方

## 【操作ボタンの使用方法】

**注意** ※タンクに次亜塩素酸水がない状態での操作はおやめください。

### ●電源のON/OFF

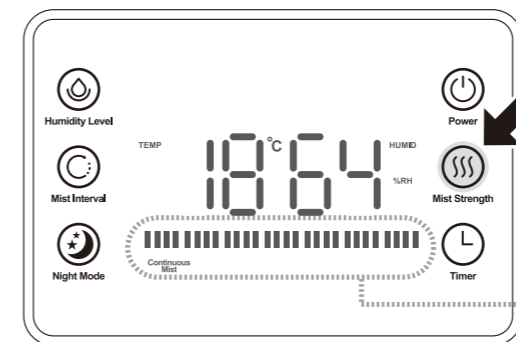


電源プラグをコンセントに差し込みます。  
電源ランプが点灯します。  
電源ボタン (Power) を一度押すと最大噴霧量で運転を開始します。  
電源ボタン (Power) をもう一度押すと噴霧が止まり、ファンが約30秒間噴霧器内のミストを排出したのち止まります。  
本体のプール内に液剤が溜まっていない状態のときはミストは出ません。

○リモコンでは **ON/OFF** のボタンになります。

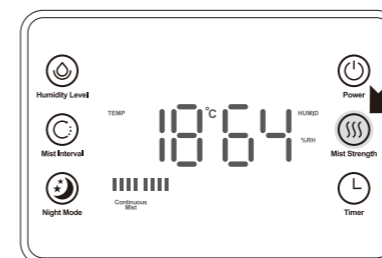
### ●ミスト量調節機能について

噴霧するミストの量を調節する機能です。

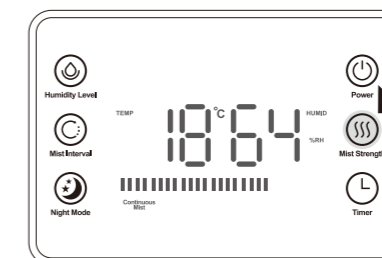


電源をONにしたときは、ミストの噴霧量は最大『強』にセットされています。

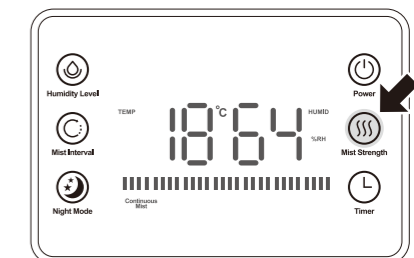
ミスト量調整ボタン (Mist Strength) を押すごとに変化します。



1回押しで『弱』



2回押しで『中』



3回押しで『強』

4回押すと最小『弱』の噴霧量に戻ります。

○リモコンでは **MIST** のボタンになります。

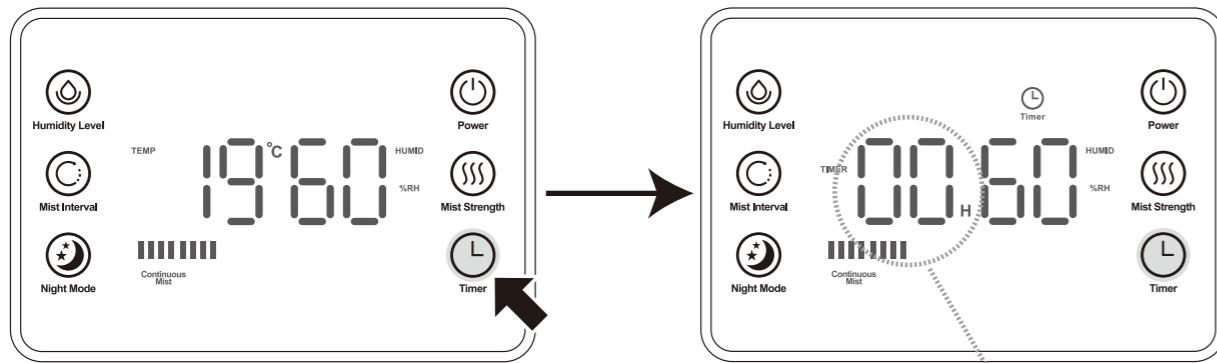
# コントロールパネル・操作ボタン・リモコンボタンの使い方

## 【操作ボタンの使用方法】

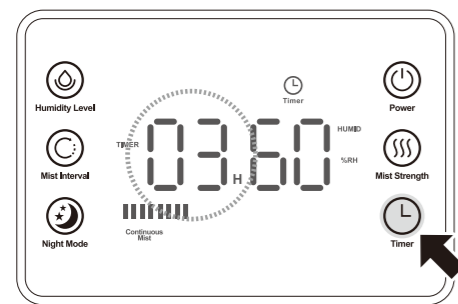
**注意** ※タンクに次亜塩素酸水がない状態での操作はおやめください。

### ●OFFタイマー機能について

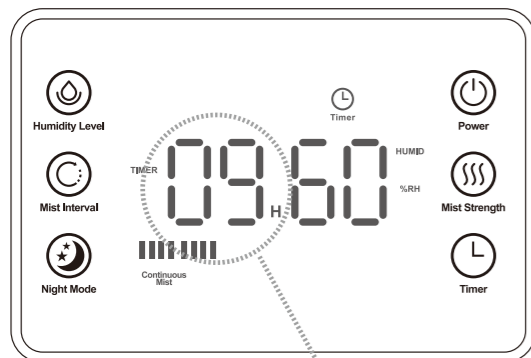
OFFタイマーは自動的に電源をOFFにする機能です。



OFFタイマーボタン (Timer) を一回押すと、ディスプレイ左側室温表示が Timer00H に変わります。



1時間単位で最大12時間までセットできます。  
OFFタイマーボタン (Timer) を希望する時間になるまでボタンを数回押してください。  
設定希望時間に達したらボタンから手を放して下さい。



ディスプレイには左側の室温表示が残り時間と交互に表示されます。  
時間が来ると噴霧が停止し約30秒後にファンが停止します。

○リモコンでは **TIMER** のボタンになります。

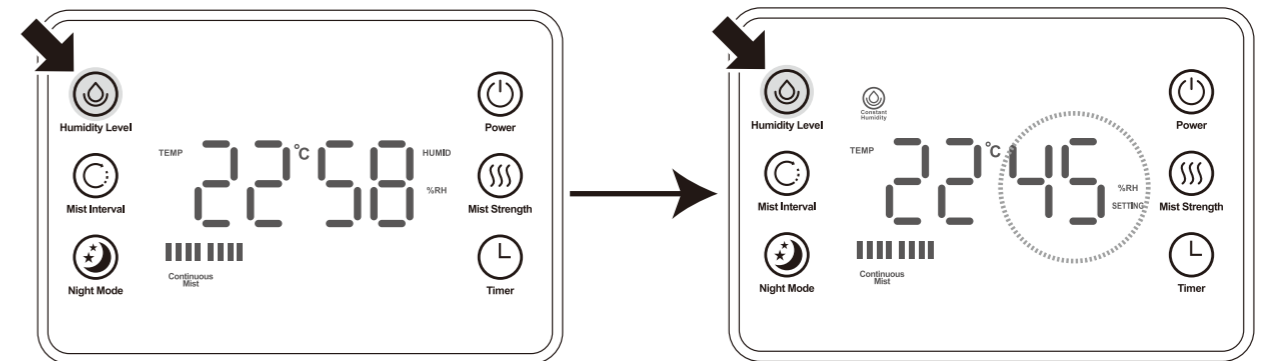
# コントロールパネル・操作ボタン・リモコンボタンの使い方

## 【操作ボタンの使用方法】

**注意** ※タンクに次亜塩素酸水がない状態での操作はおやめください。

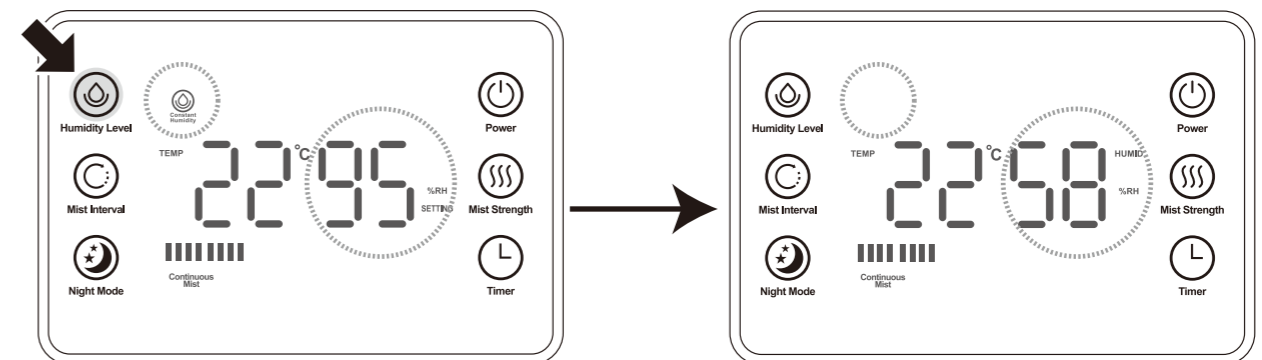
### ●湿度設定機能について

湿度設定機能は、設定した湿度に自動的にコントロールすることができます。  
セットした湿度になれば運転を停止し、セットした湿度より低くなると自動的に運転を開始します。



湿度設定ボタン (Humidity Level) で希望の湿度をセットします。  
湿度設定ボタン (Humidity Level) を1回押すと希望の湿度をセットできます。

湿度の設定は、相対湿度45%~95%の範囲で、湿度設定ボタン (Humidity Level) を1回押すごとに5%間隔でセットできます。



設定湿度95%の状態からもう一度湿度設定ボタン (Humidity Level) を押すと、湿度設定はOFFになります (コントロールパネルの Constant Humidity ランプが消灯)。  
ディスプレイには右側に現在の湿度が表示されます。

湿度に関係なく (湿度を設定せずに) 運転したい場合はこの状態でご使用ください。

○リモコンでは **HUMIDITY** のボタンになります。

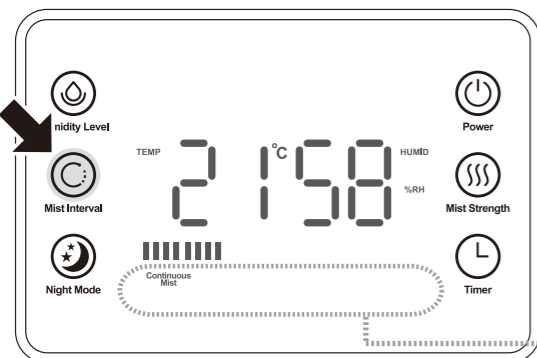
# コントロールパネル・操作ボタン・リモコンボタンの使い方

## 【操作ボタンの使用方法】

**注意** ※タンクに次亜塩素酸水がない状態での操作はおやめください。

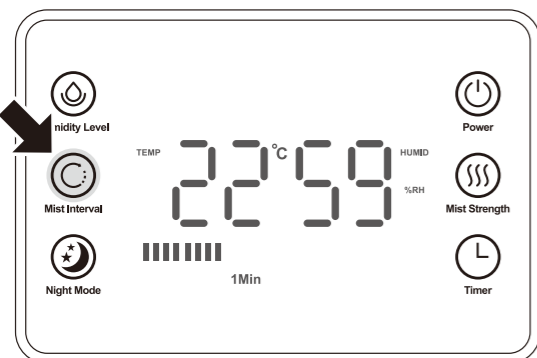
### ●間欠運転機能について

間欠運転機能は一定時間噴霧して一定時間停止するのを繰り返す機能です。

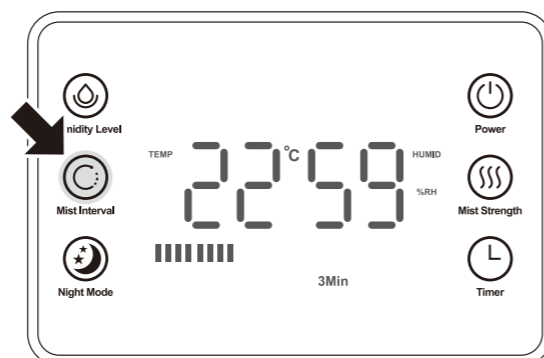


間欠運転表示部分

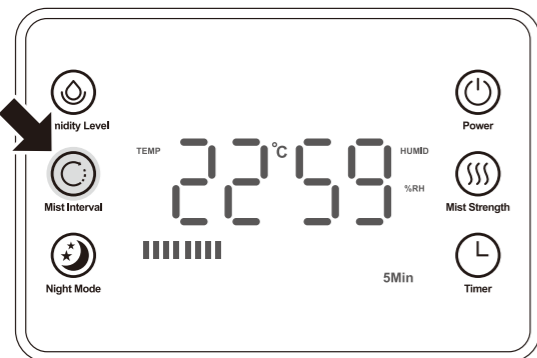
間欠運転ボタン (Mist Interval) を押すごとにOFF時間が変化します。



間欠運転ボタン (Mist Interval) を1回押すと1分間ON 1分間OFFの繰り返し



間欠運転ボタン (Mist Interval) を2回押すと1分間ON 3分間OFFの繰り返し



間欠運転ボタン (Mist Interval) を3回押すと1分間ON 5分間OFFの繰り返し

間欠運転ボタン (Mist Interval) を4回押すと間欠運転OFF (連続運転) の状態になります。

間欠運転設定中は、ディスプレイの間欠運転表示部分に1Min 3Min 5Minのいずれかが表示されます。

○リモコンでは **INTERVAL** のボタンになります。

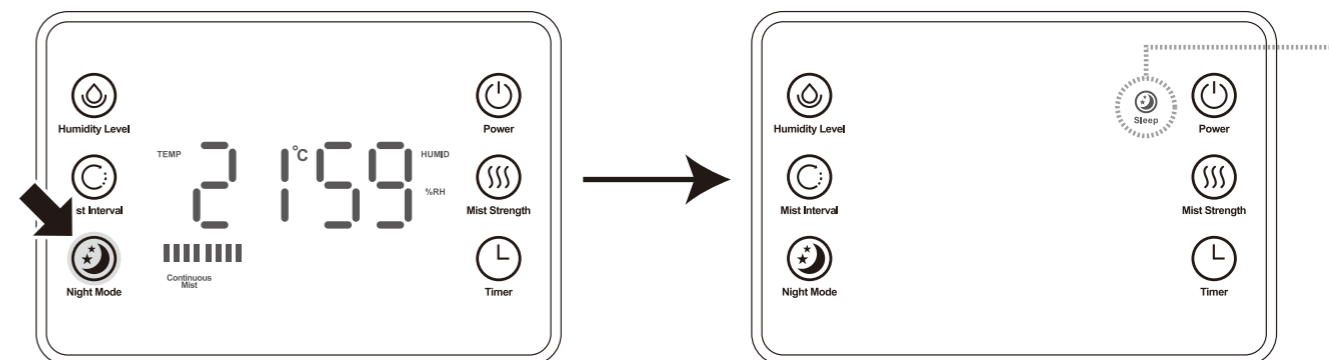
# コントロールパネル・操作ボタン・リモコンボタンの使い方

## 【操作ボタンの使用方法】

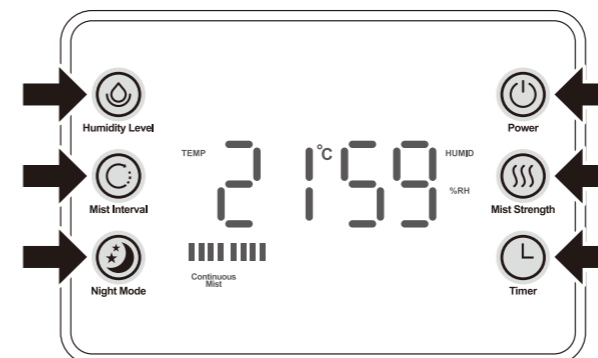
**注意** ※タンクに次亜塩素酸水がない状態での操作はおやめください。

### ●ナイトモードについて

睡眠の際など、運転中にパネルの点灯表示を消したいときに使用します。



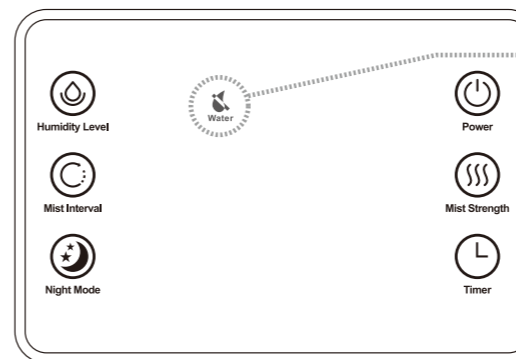
パネルON/OFFボタン (Night Mode) を押すと図のようにパネルが消灯し、Sleepの表示が少し暗く表示されます。



もう一度パネルON/OFFボタン (Night Mode) を押す、または、他のボタンを押すと再びパネルが表示された状態に戻ります。

○リモコンでは **SLEEP** のボタンになります。

### ●空吹き防止機能について



タンクに液剤がなくなると、ディスプレイに給水ランプ (Water) が赤く表示され、自動的に超音波振動子の運転が止まりミスの発生を停止します。  
ファンは約30秒間運転して停止します。

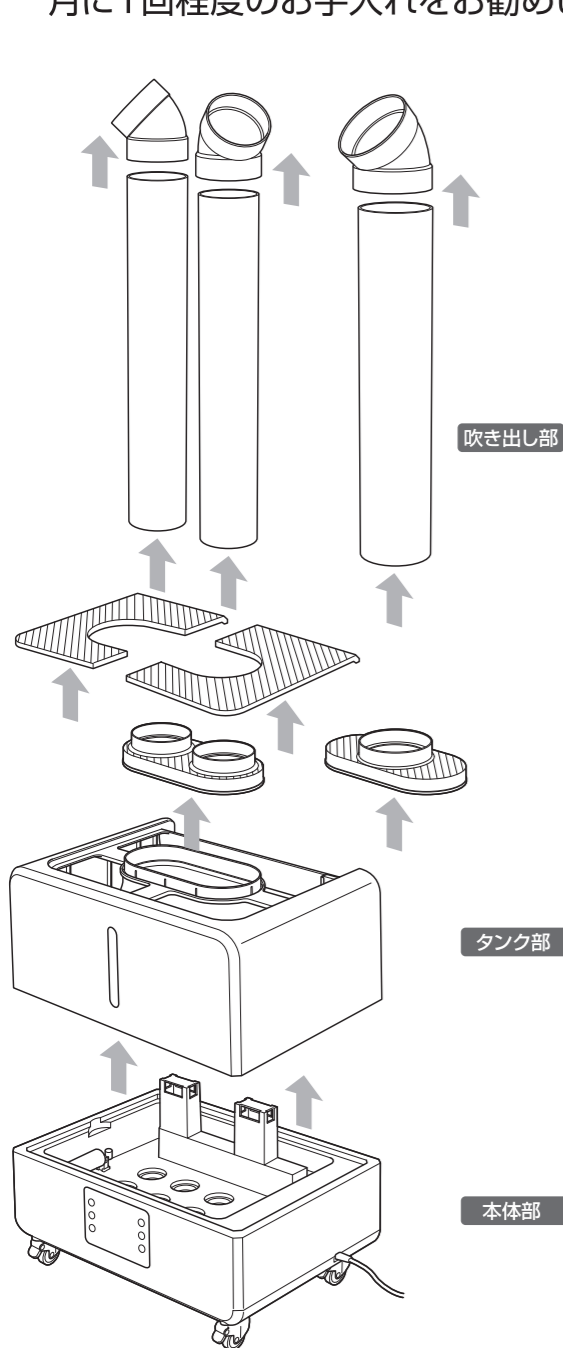
本体電源も同時にOFFになります。  
運転を再開する際は、タンクに給水して電源ボタン (Power) を押して運転を再開してください。

## お手入れのしかた

### 注意

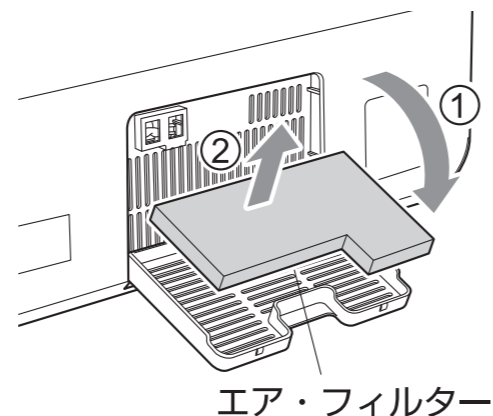
- お手入れをする前は電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。液剤や水が送風口や吸気口(背面)から入らないように行ってください。また水位センサーに触らないように行ってください。

噴霧器のご使用中、次亜塩素酸水や希釈に使用する水道水に含まれるミネラル成分による付着物(スケール)が発生することがあります。月に1回程度のお手入れをお勧めします。



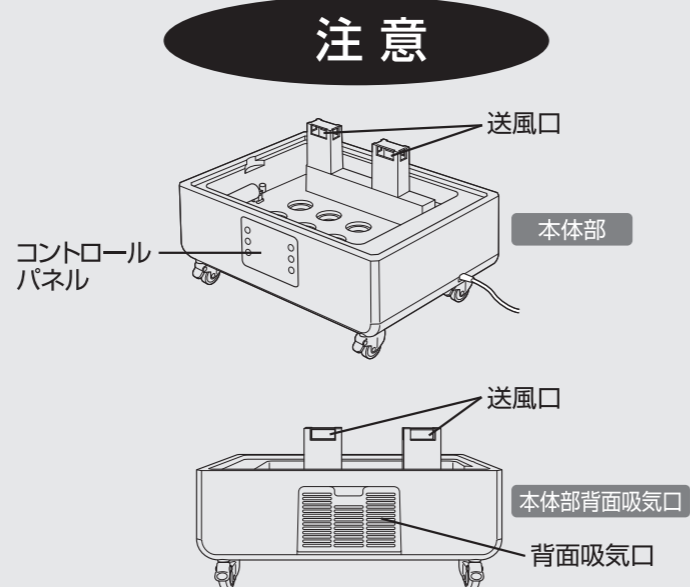
### ●本体のお手入れ

1. 吹き出し部・タンクを外します。
2. 本体部上面にたまった液剤や汚れをきれいな布などで拭き取った後、から拭きします。



### ●下部本体フィルターのお手入れ

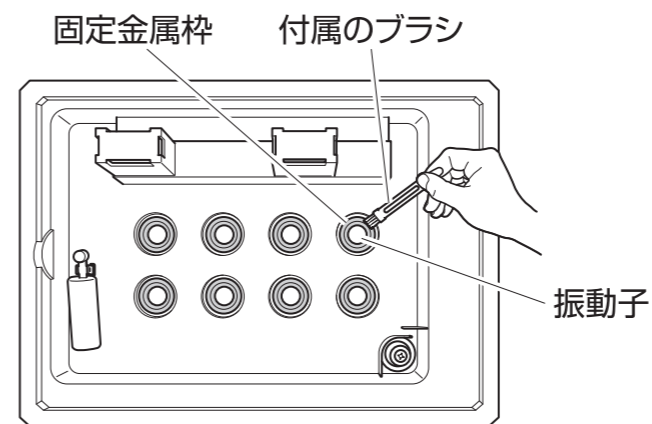
フィルターカバーを開け中のエア・フィルターを取り出してください。掃除機などでほこりを取り、元のようにセットしてください。



- 磨き粉、洗剤、ベンジン、アルコール、シンナー等は使わないでください。(故障・変形・変色の原因になります。)
- 送風口や吸気口から本体内部へ水や液剤が入らないようご注意ください。
- コントロールパネル周辺を濡らさないようご注意ください。

## お手入れのしかた

### ●振動子周辺のお手入れ



1. タンク部・吹き出し部を取り外します。
2. プール内に液剤が入っている状態で、付属のブラシを使用し、振動子と固定金属棒を丁寧にブラッシングします。振動子と固定金属棒の間などに付着物がある場合は、ブラシで取り除きます。
3. ブラッシング後、プール内の液剤を捨てます。
4. 最後にきれいな水でよくすすぎます。

※付着物の除去には付属の専用ブラシを使用し、ヤスリ、金属ブラシなどの固いものは使用しないでください。(振動子や固定金属棒の損傷の原因となります。)

※スケールの付着が振動子の正常な振動を妨げ、霧(ミスト)発生量の減少が早まったり、部品の劣化が早まったりしますので、こまめなお手入れをお勧めします。

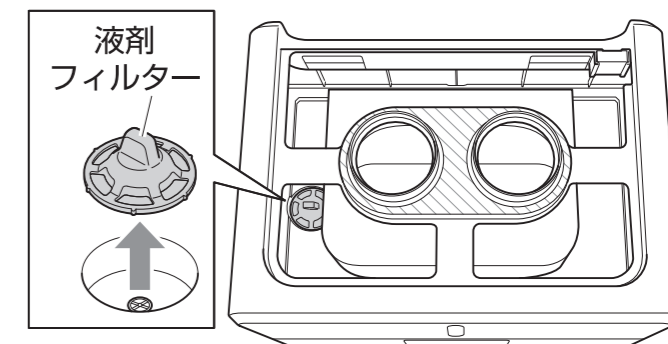
※次亜塩素酸水の酸化力の影響により、タンクのプラスチックが劣化することがあります。ご使用状況により異なりますが、タンクは3~5年を目途に交換してください。(別売)

### 保管のしかた

1. 「お手入れのしかた」にしたがってお手入れをします。
2. 各部の液剤をよく拭き取り、よく乾燥させます。
3. 埃をかぶらないように、また、湿気のないところで保管してください。

### ●タンクのお手入れ

次亜塩素酸水をご使用している場合、タンク内はほとんど汚れませんが、タンク内の液剤の増減により、液剤に浸かっている時間が長い部分には汚れが付くことがあります。



1. タンク内部の液剤フィルター上部つまみを持ち引き上げて下さい。
2. 液剤フィルターに付着しているゴミなどを流水で洗い流してください。※液剤フィルター部は破れやすいので指などで直接触らないでください。
3. タンク送水パッキンに異物がついていないか確認をして液剤フィルターを取り付けて下さい。
4. 汚れなどがある場合はきれいな布等でふき取ります。



## 故障かなと思ったら

使用方法を間違えたりしますと、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に下表で確認してください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグが正しく差しこまれていますか？	電源プラグを正しく差しこんでください。
作動しない・霧が吹き出さない・少ししか吹き出さない	次亜塩素酸水は十分入っていますか？	次亜塩素酸水を入れてください。
	水平な場所に置かれていますか？	水平な場所に置いてください。
	タンク部および吹き出し部が正しくセットされていますか？	各部パーツを正しくセットしてください。
	振動子にほこりや付着物が付いていませんか？	『お手入れのしかた』にしたがって取り除いてください。
	次亜塩素酸水以外のものを使っていますか？	次亜塩素酸水を使ってください。
タンクに割れなどが無いのに水が漏れる	タンク送水部パッキンに異物が挟まりプールへの送水が止まらなくなっていますか？	タンク送水部パッキンのお掃除をしてください。
霧が臭う	タンクに次亜塩素酸水を入れたまま長期間放置していませんか？	タンク内の古い液剤を捨て、新たに次亜塩素酸水を入れてください。
	次亜塩素酸水以外のものを使っていますか？	次亜塩素酸水を使ってください。
本体部が濡れる	タンク送水部パッキンやタンクが正しくセットされていますか？	タンク送水部パッキンやタンクを正しい位置にセットしてください。

※焦げ臭いにおいがする場合、本体内部の電気部品が故障し発熱している可能性があります。直ちに運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理・点検をお申し付けください。

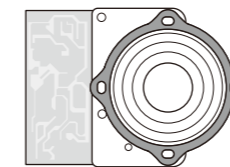
以下の症状は故障ではありません。

症状	原因
タンクを設置した時にポコポコと音がする。	タンクから本体部に次亜塩素酸水が流れている音です。
本体や霧が臭う	初めてお使いになる時は、本体内部のニオイがする場合があります。
振動子周辺に付着物が発生する	次亜塩素酸水を希釈する際の水道水に含まれるミネラル成分です。『お手入れのしかた』にしたがって取り除いてください。
霧が少ししか吹き出さない	液剤温度が5℃以下の場合、霧(ミスト)の発生量が減少することがあります。この場合、液剤温度が上昇すると正常に噴霧します。

## 消耗部品の交換について

振動子や固定金属枠など、本製品には交換が必要な消耗部品があります。部分的に交換することで安心して長期間使い続けることができます。下記の症状が出ている場合は交換が必要です。

症状	対処方法
霧を吹き出さなくなった。霧の量が減ってきた	振動子は消耗部品です。長くご使用になると、振動子の消耗により徐々に噴霧量が減ってきます。振動子ユニットを交換することで噴霧量は元の量に戻ります。販売店に振動子ユニットの交換をご依頼ください。振動子ユニットは一つずつ交換できます。
固定金属枠が腐食してきた	次亜塩素酸水を長時間噴霧し続けると固定金属枠が腐食したり劣化したりすることがあります。この症状が進むと水漏れと故障の原因になります。早めに振動子ユニットの交換をご依頼ください。
振動子部分から本体内部へ水が漏れる	次亜塩素酸の影響やスケールの付着により固定金属枠や振動子のOリング(パッキン)が劣化することがあります。本体内部への水漏れの場合、直ちにご使用を中止し、振動子ユニットの交換をご依頼ください。
本体とタンクの間から水が漏れる	上部タンクに亀裂や破損があるかもしれません。新しいタンクに取り替えることで水漏れしなくなります。タンク送水部に異物が挟まっている可能性があります。送水口の異物を取り除いて下さい。



振動子ユニット

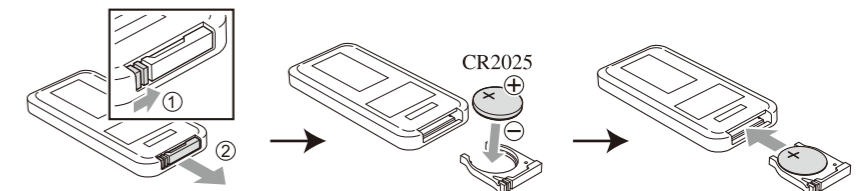
### (振動子ユニットの交換方法)

販売店で交換のご依頼を承っております。交換の手続きや交換料などは、販売店にお問い合わせください。

振動子の消耗スピードや固定金属枠・Oリング(パッキン)の劣化の進行は、次亜塩素酸水の性質や濃度、運転時間などのご使用方法、お手入れの仕方や頻度、希釈水に含まれるミネラル成分の量など、諸条件により差がございます。

## リモコンの電池交換について

リモコンの電池が切れた場合ボタン電池(CR2025)をお買い求めいただき電池を図のように交換してください。



- 万一、機器を落とすなどしてタンクや本体を破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)

- 保証書

本製品には保証書が付いています。  
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。  
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

- 消耗品と修理について

(注)保証期間内でも、下記のサービスは保証対象外となりますのでご注意ください。

- 1 振動子ユニットの交換 (有料交換)

・使用中に噴霧量が減ってきた場合や、固定金属枠・Oリングが劣化した場合は部品交換が必要です。  
また、スケールの付着が多く見られるようになったら、早目の交換をお勧めします。

振動子および固定金属枠・Oリングは消耗部品です。霧の発生量、固定金属枠・Oリングの劣化の度合いを目安に早めにお取り替えください。

- 2 タンク、ミストパイプ、ミストノズル等の交換 (有料交換)

・タンク、ミストパイプ、ミストノズル等が破損した場合、または、これらのプラスチックが劣化してきた場合、その部分のみを部品としてご購入していただくことで、引き続きご使用いただけます。

- 3 ご使用上の人為的なことによる破損や故障 (有料修理)

・衝撃を加えたり落下させたりしたことによる破損や、誤ったご使用をされことなどによる故障など、人為的なことが原因の破損や故障は、保証期間中でも無料修理の対象になりません。  
予めご了承下さい。

- アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、弊社またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 製品仕様

品名	《除菌消臭用》超音波式噴霧器プーキープロミスト
型式	PK-808S-EP6000
定格電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	260W
最大噴霧量	約6000ml/h
タンク容量	約18ℓ
本体重量	約10.66kg
本体サイズ	50×36×高106cm
許容周囲温度	5℃～40℃
製造国	中国

※外観及び仕様は改良のため予告なく変更することがあります。  
※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。